

令和7年度第3回 秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり会議

－ 目 次 －

1 令和7年度事業報告及び収支決算について

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和7年度収支決算

2 令和7年度 of 取組みに対するまちづくり会議から市への意見提出について (国への年次報告)

3 令和8年度事業計画及び収支予算について

- (1) 令和8年度事業計画案
- (2) 令和8年度収支予算案

4 報告事項について

- (1) 神奈川県平塚土木事務所（県道705号の整備について）
- (2) 小田急電鉄株式会社（丹沢日和Nature Activity Baseの取組みについて）
- (3) 東海大学建築都市学部（ムービングセルの制作及び活用について）
- (4) 神奈川大学建築学部（ペイントワークショップ及びレトロ空間調査について）
- (5) 商店街の取組み

Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（Ⅰ） 令和7年度事業報告）

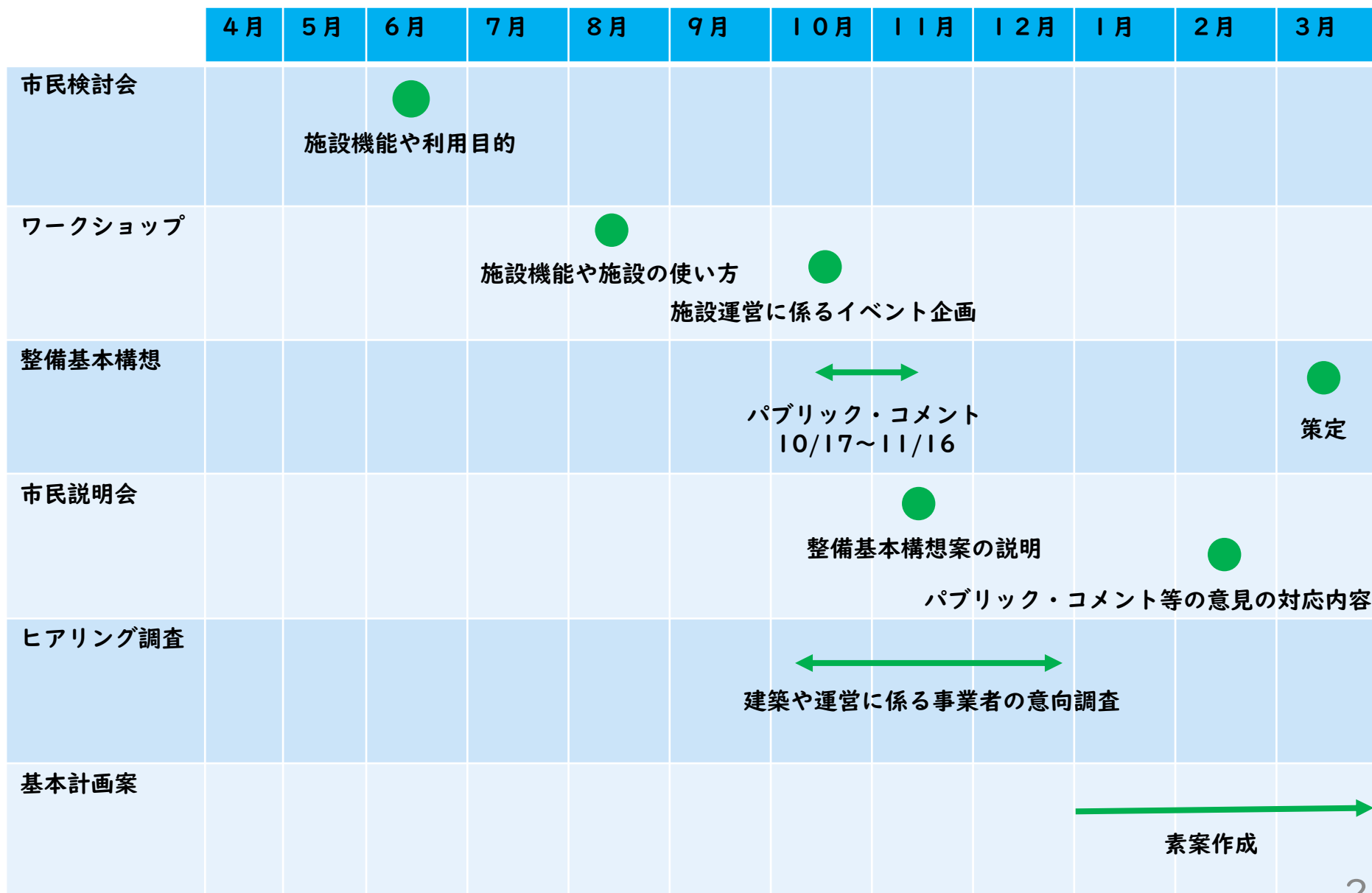
令和7年度第2回資料再掲
※ 下線部は更新箇所

秦野市中心市街地活性化基本計画における目標指標の年次調査結果（令和7年度）

基本方針	目標	目標指標	計画に位置付ける主な関連事業	基準値	令和7年度	目標値
方針① 人との交流・活動が生まれるまち	目標① 交流人口の拡大	指標① 交流創出事業数（回/年）	・多世代交流施設整備事業【重点事業】 ・地域の回遊性に資するイベントの実施事業	34回/年 （R5）	61回/年	109回/年 （R11）
方針② “はだの”ならではの楽しみがあり、歩きたくなるまち	目標② 歩道及び滞在空間の快適性の向上	指標②－1 通行者・滞在者数（人）	・多世代交流施設整備事業【重点事業】 ・水無川沿い・市道6号線公共空間の活用検討【重点事業】	平日65人 休日56人 （R4）	平日85人 休日74人 （R7）	平日108人 休日98人 （R11）
		指標②－2 滞在者のアクティビティ数（件）	・市道82号線（北口駅前広場）歩道整備事業	6件 （R4）	9件 （R7）	11件 （R11）
方針③ 便利で快適で住み続けられるまち	目標③ 生活利便性の向上	指標③－1 中心市街地営業店舗数（店舗）	・商業・業務の新たな核づくり【重点事業】 ・まちなか開業サポート事業	150店舗 （R4）	162店舗 （R7）	154店舗 （R11）
		指標③－2 居住満足度（%）	・商店街販売促進事業 ・電子地域通貨関連事業	85% （R5）	88% （R7）	88% （R11）

Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（Ⅰ） 令和7年度事業報告）

重点事業Ⅰ（多世代交流施設整備事業）



Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（Ⅰ） 令和7年度事業報告）

重点事業Ⅰ（多世代交流施設整備事業）

市民検討会

実施日：令和7年6月24日（火） | 会場：秦野市役所

【主な内容】

- ・ 情報発信や子育て機能、屋外空間等の使い方に関する意見交換
- ・ 開館時間や利用目的に関する意見交換
- ・ 各フロアの配置やつながりに関する検討

ワークショップ

実施日：令和7年8月24日（日）及び10月18日（土） | 会場：はだのこども館

【主な内容】

- ・ 導入する機能である「こども・子育て」、「学び・知育」、「創造的活動」、「市民活動・起業/就労」、「魅力情報発信」について、各機能の具体的な在り方に関する意見交換
- ・ 施設運営体制を検討するためのイベント企画

市民説明会

実施日：令和7年11月22日（土）及び令和8年2月21日（土） | 会場：秦野市役所

【主な内容】

- ・ これまでの検討経過の説明
- ・ 多世代交流施設整備基本構想案の説明
- ・ パブリック・コメントに寄せられた意見への対応内容

【参考】商業・業務の新たな核づくり（重点事業）

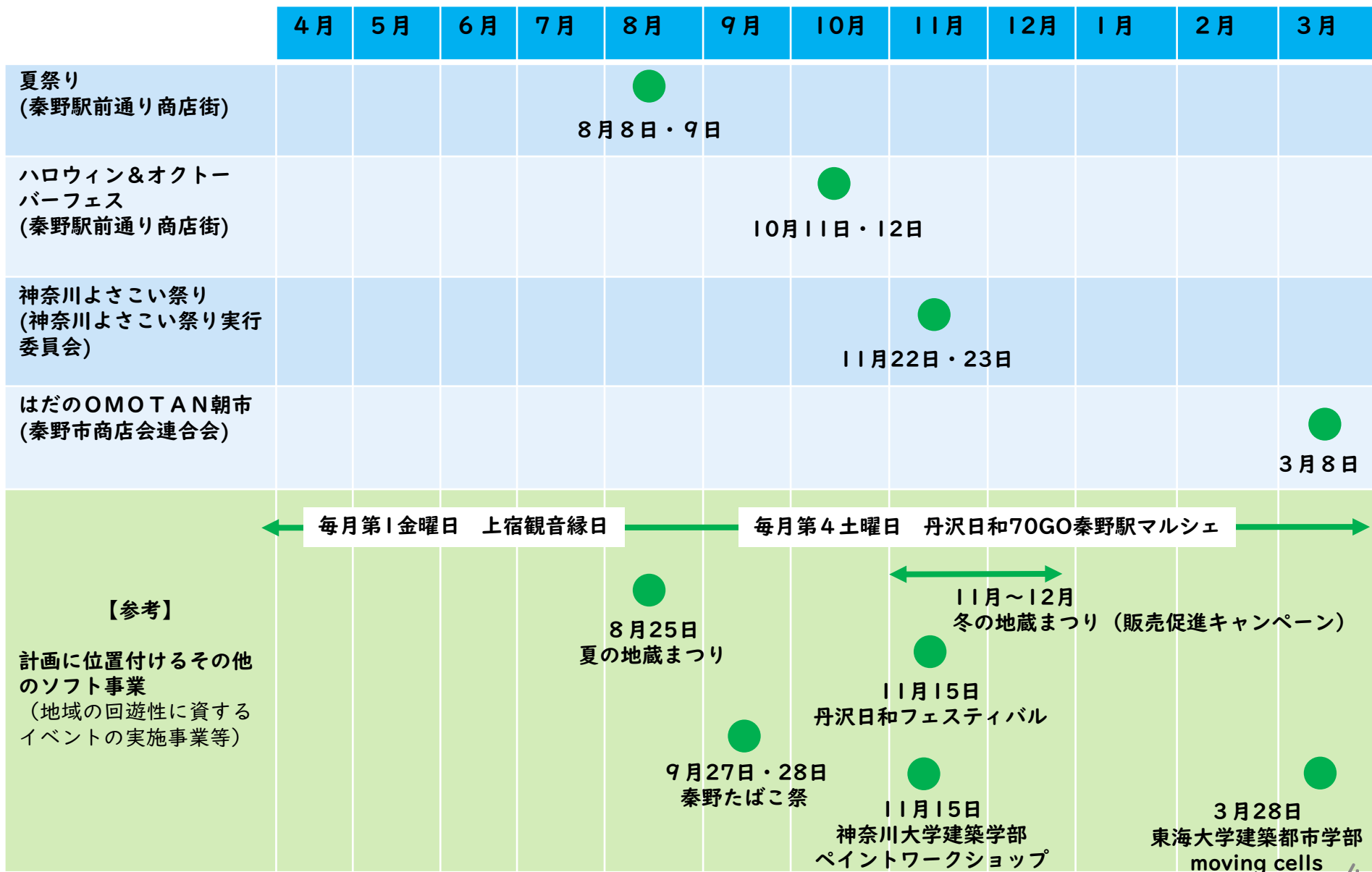
【主な内容】

- ・ 用地の取得に向けた関係権利者との協議



Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（Ⅰ） 令和7年度事業報告）

重点事業2（水無川沿い・市道6号線の公共空間活用検討事業）



I 令和7年度事業報告及び収支決算について（I） 令和7年度事業報告）

重点事業2（水無川沿い・市道6号線の公共空間活用検討事業）

夏祭り

実施日：令和7年8月9日（土）、10日（日） | 会場：はだの橋～平成橋

実施主体：秦野駅前通り商店街

【主な内容】

飲食・物販等の出店、ステージ（ものまねショー）、
こども用水遊び、OMOTANコインキャッシュバック

【来場者数】

2, 800人 ※10日は荒天のため中止



ハロウィン&オクトーバーフェス

実施日：令和7年10月11日（土）、12日（日） | 会場：はだの橋～まほろば大橋

実施主体：秦野駅前通り商店街

【主な内容】

飲食・物販等の出店、
ステージ（仮装コンテスト、カラオケ大会）、
チョークアート

【来場者数】

3, 700人 ※11日は終日雨



Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（Ⅰ） 令和7年度事業報告）

重点事業2（水無川沿い・市道6号線の公共空間活用検討事業）

神奈川よさこい祭り

実施日：令和7年11月22日（土）、23日（日） | 会場：はだの橋～まほろば大橋、本町小学校校庭
実施主体：神奈川よさこい祭り実行委員会

【主な内容】

よさこい踊り、飲食・物販等の出店、
本町小学校バザーとの連携
（飲食の出店、よさこい踊りの体験等）

【参加団体数】

80団体（1,600人）



はだのOMOTAN朝市

実施日：令和8年3月8日（日） | 会場：はだの橋～まほろば大橋
実施主体：秦野市商店会連合会

【主な内容】

飲食・物販等の出店、ステージ（バンド演奏等）、
OMOTANコインキャッシュバック

【出店者数】

50店舗



I 令和7年度事業報告及び収支決算について（(I) 令和7年度事業報告）

中小企業基盤整備機構による支援

まちづくり専門家との意見交換会

中心市街地活性化基本計画の認定に伴い、経済産業省が所管する独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）の支援事業により、本市の中心市街地の課題解決に向け、まちづくり専門家（伊藤 大海 氏）によるヒアリングや商店街等との意見交換等を実施。



意見交換会の様子

まちの課題に対するヒアリングとアドバイス（行政）

実施日：令和7年6月4日（水）

内 容：秦野市の課題について（まちのプレイヤーやエリアマネジメントなど）

第1回まちづくりの担い手との意見交換（行政、商業者等）及び現地視察

実施日：令和7年9月2日（火）

内 容：エリアマネジメント組織の設立の目的や活動内容に関する説明

未来図づくりによる将来像の共有、まちのプレイヤー発掘、産業人材育成の効果について

第2回まちづくりの担い手との意見交換（行政、商業者等）

実施日：令和8年1月21日（水）

内 容：目指すべきまちの姿の共有について（秦野ならではの豊かさとは何か）

議論を深めるための情報のインプットについて（勉強会や先進事例視察）

Ⅰ 令和7年度事業報告及び収支決算について（(2) 令和7年度収支決算）

令和7年度収支決算書（案）

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	差額	摘要
市補助金	2,400,000	1,275,000	-1,125,000	秦野駅北口周辺にぎわい創造推進事業補助金（中心市街地活性化ソフト事業として事業費の1/2が特別交付税の支援措置対象）
雑入	902	14,650	13,748	原稿作成料、預金利息
繰越金	98	98	0	
合計	2,401,000	1,289,748	1,111,252	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	差額	摘要
委託料	550,000	567,600	-17,600	図書に関するワークショップ運営委託
事業費	1,550,000	455,176	1,094,824	水無川沿い等イベント開催支援、ワークショップ開催支援等
通信運搬費	50,000	55,000	-5,000	ホームページ維持管理
消耗品費	231,000	203,466	27,534	事務消耗品、印刷
事務費	20,000	8,030	11,970	振込手数料等
合計	2,401,000	1,289,272	1,111,728	

■収入（1,289,748円）－支出（1,289,272円）＝476円

■繰越金476円

2 令和7年度の取組みに対するまちづくり会議から市への意見提出について（国への年次報告）

秦野市中心市街地活性化基本計画に位置付ける事業の効果検証と改善を図るため、市が計画の進捗状況を取りまとめ、国に報告します。

令和7年3月

中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定



令和7年4月～令和12年3月

計画期間(国の支援を受けながら計画に位置付ける事業を実施)



定期フォローアップにより
PDCAサイクルを適切に実施



計画の進捗状況の報告

(国の定める「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針」に基づき毎年5月末に国に報告)

【国への年次報告の主な内容】

- ・ 目標指標の年次調査結果
- ・ 目標指標に係る主な事業の取組み状況
- ・ まちづくり会議から市への意見提出

2 令和7年度の取組みに対するまちづくり会議から市への意見提出について（国への年次報告）

国の定める「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針」に基づき、秦野市中心市街地活性化基本計画の進捗状況を国に報告するに当たり、現状の進捗状況の評価として、秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり会議（中心市街地活性化協議会）から認定自治体である秦野市に意見書を付します。

意見書（案）

秦野市中心市街地活性化基本計画の進捗状況を踏まえ、秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり会議から、次のとおり市に意見を付します。

1 水無川沿い空間活用について

令和5年度から社会実験として実施してきた水無川沿い空間の活用については、休日のイベントとして民間主導による開催が行われ、定着し始めるなど、徐々にまちの変化が生まれつつある。

2 交流創出事業について

秦野駅をランニングイベントやまち歩きの拠点として活用するなど、民間団体による新たな取組みが始まっており、これまでの検討や社会実験の積み重ねが、公民連携の取組みの推進に着実に発揮されているものと評価する。

今後は休日のイベントに限らず、日常の中で人々の交流や活動が自然に生まれる仕組みづくりや、人にとって居心地の良い空間づくりについて、引き続き検討を進めていくことが重要である。

3 多世代交流施設整備事業について

目標指標である歩行者・滞在者数及び営業店舗数の達成に向けては、主要事業である「多世代交流施設整備事業」が重要な役割を担うことから、多様な活動や交流の拠点となる施設を目指すとともに、他の関連事業との連携を通じて、まち全体の回遊性向上にも寄与する施設となることを期待する。

4 検討中の事業について

現在検討が進められている各事業については、関係機関等と連携を図りながら、着実な事業化・実現に向けて取り組むことを求める。

以上の4点を踏まえ、第1期計画の2年目に向けては、今後の社会潮流等の変化にも柔軟に対応しながら、「一水と歴史が繋げる未来—しなやかな街なか暮らし」の実現に向け、行政、本まちづくり会議、市民、各事業者等が引き続き連携し、目標達成に向けた施策の実効性を一層高めていくことを期待する。

3 令和8年度事業計画及び収支予算について

秦野市中心市街地活性化基本計画の国の認定のもと、令和7年度から、「多世代交流拠点整備事業」や「商業・業務の新たな核づくり」、「水無川沿い市道6号線公共空間の活用検討」などの主要事業を中心に、全52事業に取り組んでいます。

令和8年度は、現在計画しているハード整備の効果を生かし、にぎわいが持続するまちの実現のため、まちづくり専門家の支援のもと、ソフト事業にも力点を置き、未来図づくりを通じて、市民や事業者との合意形成を図りながらエリアマネジメント組織設立の検討に取り組めます。

(1) 令和8年度事業計画案

・ 令和8年度スケジュール及び取り組み内容について

水無川沿い・市道6号線の公共空間活用検討事業及びソフト事業について

多世代交流施設整備事業について

商業・業務の新たな核づくりについて

・ 未来図づくりについて

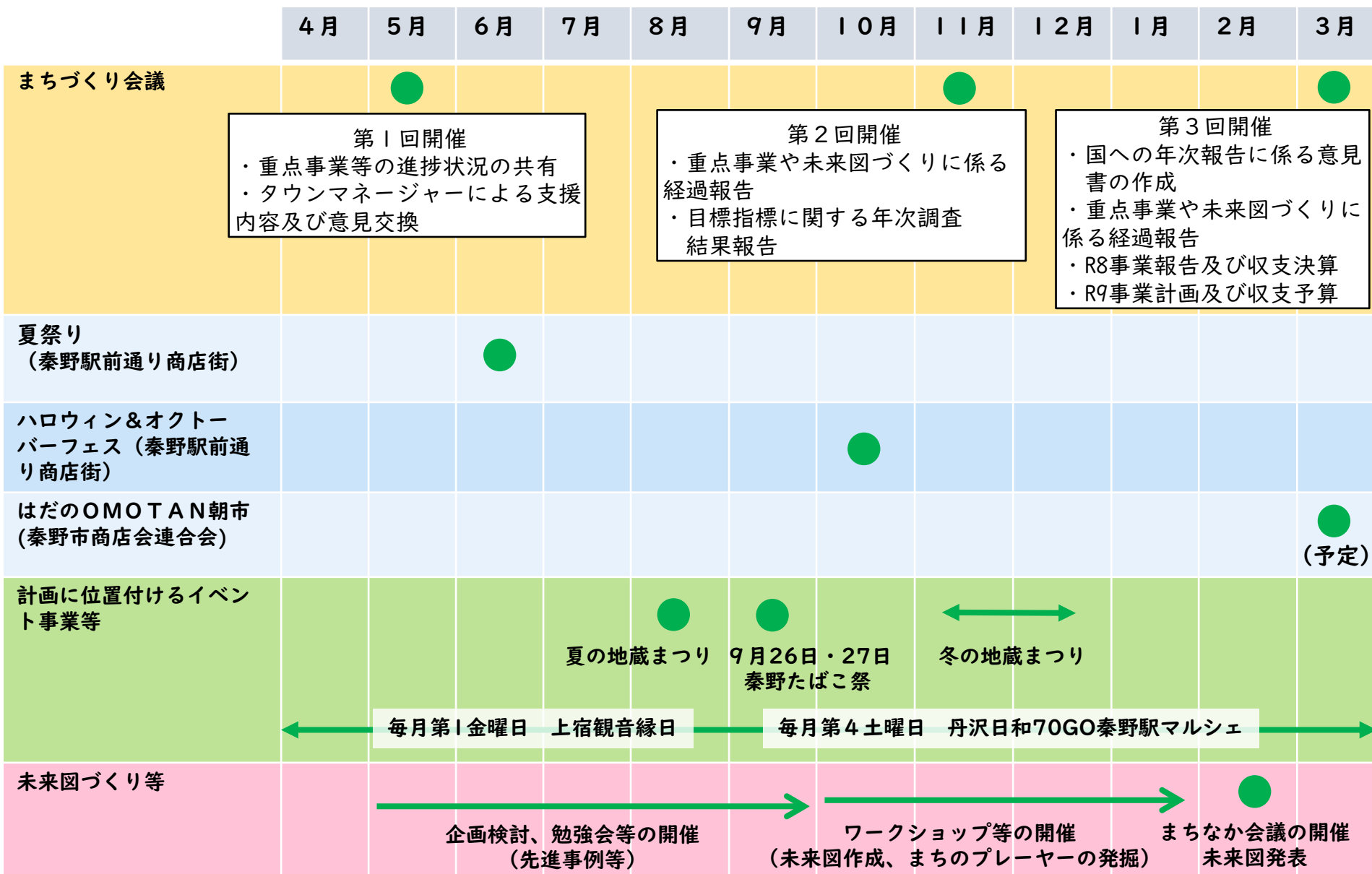
・ タウンマネージャーについて

(2) 令和8年度収支予算案

3 令和8年度事業計画及び収支予算について

関係機関との調整や事業の進捗等により
変更となる場合があります。

令和8年度事業計画案（ソフト事業等スケジュール）



3 令和8年度事業計画及び収支予算について（（1）令和8年度事業計画）

未来図づくりとは？（半田市の事例）



未来図（半田市 JR半田エリア）



創造・連携・実践センターコココリン



プロセス の効果

まちのプレイヤーの発掘、目指すべきまちの将来像の共有

→市民主導の実践

・朝市開催 ・公園活用プロジェクト開始 ・その他自主的なワークショップ等

完成した 未来図から 派生した取組み

→行政×市民×企業等の団体

・半田市創造・連携・実践センター「コココリン」オープン

低未利用地を活用し、コワーキングスペース、レンタルオフィス、交流スペース、カフェ、物販スペースなどを設置（コンテナハウス）

・知多半田駅前広場の再整備に向けた設計（R9・工事着手予定）

・半田運河エリアのまちづくり拠点「__unga」（すぺーすうんが）のオープン

（国指定重要文化財である小栗家住宅内、観光協会運営、タウンミーティングの場、社会実験の実施）



3 令和8年度事業計画及び収支予算について（（1）令和8年度事業計画）

未来図づくりについて

未来図づくりに取り組むことにより、市民や事業者が自らの役割を見出し、自分ごととして参画する動きが広がり、とともに、計画に位置付ける既存事業との相乗効果により、にぎわい創造の取組を一体的かつ持続的に推進します。

プロセス の効果

- ① まちのプレイヤーの発掘・可視化（潜在的な担い手や挑戦意欲のある事業者の掘り起こし）
- ② 行政や市民、事業者がそれぞれ目指すべき将来像を共有
- ③ 市民主導の実践への移行（共感を行動に変え、小さな挑戦を継続的な取組へと発展させる）

完成品 の効果

- ① 未来図の共有・発信をきっかけとして、人・コトが集まることによるまちの活性化の促進
- ② 事業者や市民が自分の役割を見出し、まちづくりの当事者となることで、まちに関わる人やコトが集まる
- ③ エリアマネジメント組織の組成に向けた検討の促進

これらが「点」ではなく「面」になる

既存事業 への 相乗効果

① 多世代交流施設整備事業

市民や団体の活動が活性化することで、各機能が開業後すぐに使われる施設となる。

② 水無川沿い・市道6号線公共空間活用事業

未来図に沿ったテーマでの活用、単発イベントから継続プログラムに移行、プレイヤーの育成

③ 商業・業務の新たな核づくり

民間投資の判断材料、整備後の回遊動線の明確化

④ 商店街空き店舗対策事業

まちに必要な店舗の明確化、業種ミスマッチの解消、出店希望者の判断材料

3 令和8年度事業計画及び収支予算について（（1）令和8年度事業計画）

タウンマネージャーについて

■ 位置づけ

多様な主体による活発な活動を生み出し、持続可能で魅力あるまちを実現するためには、行政と民間の間に立ち、人や事業、地域資源などを結び付け、具体的な動きへとつなげる役割が必要です。

タウンマネージャーは、公民連携を促進し、継続的なまちづくりの環境や仕組みづくりを構築する役割を担います。

■ 主な役割

1 調整役

- ・ 行政や市民、企業等の橋渡し
- ・ 利害の整理、合意形成のサポート

2 企画推進役

- ・ まちの将来像の具体化
- ・ 事業の組み立て、取組みの伴走支援

3 育成役

- ・ まちのプレイヤーの発掘
- ・ エリアマネジメント組織の立ち上げ支援



福山市 まちづくり支援拠点（仮称）



紫波町 空き店舗の活用



■ タウンマネージャーによる取組事例

広島県福山市

若手事業者とのネットワークの構築、小さなチャレンジ（実践）の継続、公共空間活用のルール化、学生の創業体験イベント「Sta-sh」、中高生の居場所づくり「STUily」、ビジネスコンテスト「BUSICON」などの立ち上げ支援、まちづくり支援拠点整備事業

岩手県紫波町

需要の可視化、収益モデルの設計、エリアマネジメント組織の立ち上げ、民間テナント導入、収益循環モデルの確立

3 令和8年度事業計画及び収支予算について（（1）令和8年度事業計画）

タウンマネージャーについて

伊藤 大海（いとう おおみ）氏

- ・ 1976年2月 佐賀県生まれ東京育ち 東京都日野市在住
- ・ 独立行政法人中小企業基盤整備機構アドバイザー
- ・ 中小企業診断士（平成14年登録）
- ・ まちづくりLand for Next Generation.代表



伊藤 大海 氏



意見交換の様子

■ 主な実績

・ 愛知県半田市

中心市街地活性化市長特任顧問（副市長級）令和4年12月～令和7年11月

・ 大分県竹田市

タウンマネージャー

・ 独）中小企業基盤整備機構

中心市街地活性化基本計画の認定自治体等への支援
（愛知県豊田市、三重県伊賀市、青森県八戸市、むつ市等）

・ 復興庁

専門家派遣集中支援事業において陸前高田市（高田大隅つどいの丘商店街の事業計画検討、新事業立ち上げ支援のディレクション）

・ 東京都狛江市

商業振興プラン策定委員会副委員長としてプラン策定支援

・ 神奈川県茅ヶ崎市（商工会議所）

商業振興に係る支援

■ 本市への支援内容（令和7年度実績）

秦野市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定に伴い、経済産業省の外郭団体である中小企業基盤整備機構の支援事業において、本市の中心市街地の課題に適した専門家（伊藤大海氏）として市や商業者へのアドバイスを実施。

令和7年6月4日：まちの課題に対するヒアリングとアドバイス（行政向け）

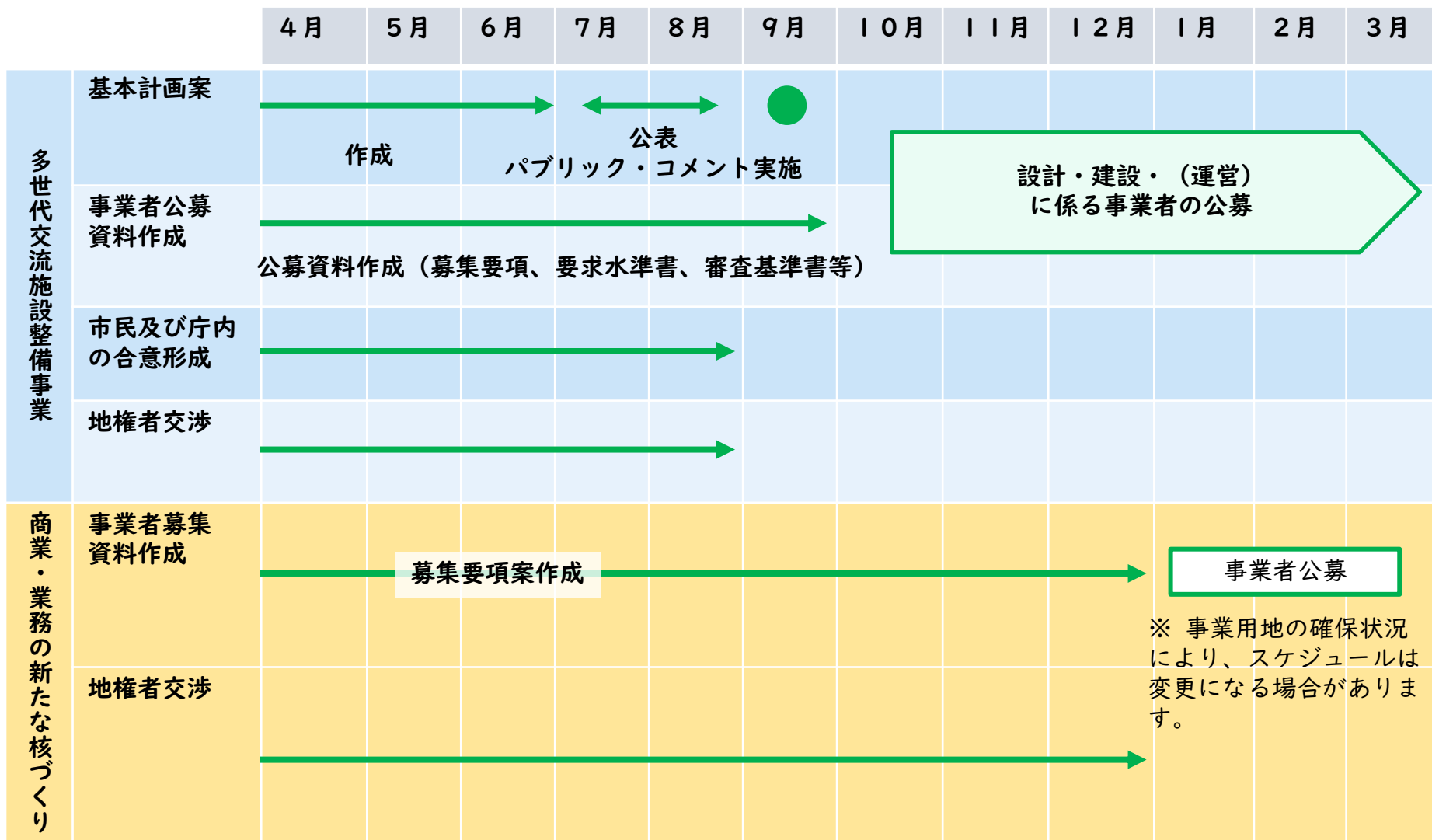
令和7年9月2日：第1回まちづくりの担い手との意見交換（行政、商業者等）

令和8年1月21日：第2回まちづくりの担い手との意見交換（行政、商業者等）

3 令和8年度事業計画及び収支予算について

令和8年度事業計画案（ハード事業スケジュール）

※ 事業用地の確保状況により、スケジュールは変更になる場合があります。



3 令和8年度事業計画及び収支予算について（（2） 令和8年度収支予算（案））

令和8年度収支予算（案）

収入の部

単位：円

科目	令和8年度	令和7年度	増減額	摘要
市補助金	7,690,000	2,400,000	5,290,000	秦野駅北口周辺にぎわい創造推進事業補助金（中心市街地活性化ソフト事業対象：1/2が特別交付税の対象）
雑入	524	902	-378	預金利息
繰越金	476	98	384	
合計	7,691,000	2,401,000	5,290,006	

支出の部

単位：円

科目	令和8年度	令和7年度	増減額	摘要
委託料	4,500,000	550,000	3,950,000	・タウンマネージャー委託
事業費	2,865,000	1,550,000	1,315,000	・勉強会及び先進事例視察 ・未来図づくりに係る実践事業
通信運搬費	55,000	50,000	5,000	ホームページ維持管理
謝礼	100,000	0	100,000	学識経験者等謝礼
消耗品費	151,000	231,000	-80,000	事務消耗品、印刷
事務費	20,000	20,000	0	振込手数料等
合計	7,691,000	2,401,000	5,290,000	